VIDEO IMAGE PICKUP DEVICE

Patent number:

JP3254577

Publication date:

1991-11-13

Inventor:

HAMAZAKI SHOJI

Applicant:

MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD

Classification:

- international:

G03B17/12; G03B37/02; G11B33/06; H04N5/225

- european:

Application number:

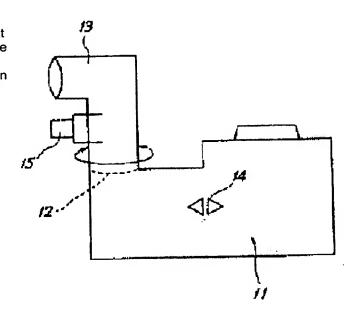
JP19900054190 19900305

Priority number(s):

JP19900054190 19900305

Abstract of JP3254577

PURPOSE:To realize a video image pickup device able to prevent the deflection of a picture and blurring by providing a lens part able to photograph toward an arbitrary direction. CONSTITUTION: Photographing is executed with a lens part 2 toward an object at the photographing, when the object moves, the photographing is executed with a lens part 13 toward the object without moving a movie main body 11 by operating a switch 14 and making the lens part 13 drive with a driving part 12. Besides, sound is recorded at the same time by providing a microphone 15 at the neighborhood of the lens part 13. Thus, even when the object moves, it is not necessary to move the movie main body 11 and the deflection of a picture and so on owing to the blurring of an image pickup device at the photographing can be prevented.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑩特許出願公開

◎ 公 開 特 許 公 報 (A) 平3-254577

(S) Int. CI. 1 H 04 N 5/225 識別記号 庁内整理番号

❷公開 平成3年(1991)11月13日

H 04 N 5/225 G 03 B 17/12 37/02

33/06

D 8942-5C Z 7634-2K

7811-2K C 7177-5D

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全3頁)

❷発明の名称

G 11 B

映像摄像装置

②特 頭 平2-54190

❷出 願 平2(1990)3月5日

@発明者 浜崎

祥 `司 大阪府

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内

大阪府門真市大字門真1006番地

勿出 顋 人 松下電器産業株式会社

砂代 理 人 弁理士 森本 義弘

明 48 1

1. 発明の名称 映像機像装置

2.特許請求の範囲

1. 提供装置本体と、この提供装置本体に設けられて撮影するためのレンズ部と、このレンズ部を提供装置本体に対して驱動させる駆動部と、この駆動部を操作するスイッチとを備えた映像振像装置。

3 . 発明の詳細な説明

産業上の利用分野

本発明は、映像振像装置に関するものである。 従来の技術

近年、映像撮像装置特にビデオー休型カメラ (以下ムービーと称す)の需要は著しい伸びを示 している。そうした中で一般的な使用は被写体を 援影する際、被写体の動きに合わせて、ムービー を動かして振彩していた。

以下に従来の映象振彙装置の一例について説明 する。第2回において、1はムービー本体、2は このムービー本体1の前端側のレンズ部である。

この第2図に示すムービーの動作について説明 すると、まず、被写体を撮影する場合、レンズ部 2を被写体に向けて撮影し、レンズ部2に写され た被写体はムービーの場合ではムービー本体1で 記録される。仮に、被写体が動いた場合、その動 作に合わせて、ムービー本体1 およびレンズ部 2 を動かして撮影される。

発明が解決しようとする課題

しかしながら上記の従来の構成では、被写体の 動作に合わせてムービー本体1やレンズ部2を動 かすため、それにより画像のプレや揺れを生じる という欠点があった。

本発明はこのような課題を解決するもので、た とえ被写体が動いても、レンズ部のみが被写体に 合わせて動作し、本体部分は動かずに撮影でき、 画像のブレや揺れを防止できるようにした映像提 像装置を提供することを目的とするものである。 課題を解決するための手段

この裏題を解決するために本発明は、幾個数世

特別平3-254577 (2)

本体と、この提供装置本体に設けられて撮影する ためのレンズ部と、このレンズ部を提供装置本体 に対して駆動させる駆動部と、この駆動部を操作 するスイッチとを備えたものである。

作用

この構成によって、撮影中に被写体が動いた場合でも、レンズ部のみを駆動させ、被写体図に向けることにより、本体部分の動きをなくしてブレや扱れを防止することができる。

实集例

以下、本売明の一実施例について、図面に基づいて説明する。

第1因において、11はムービー本体で、その前端部には被写体の動きに合わせて駆動部 12により駆動されるレンズ部 13が380 ・回転可能に設けられている。14はレンズ部 13を操作するためにムービー本体 11に設けられたスイッチ、15はレンズ部 13と一体に駆動されるようにレンズ部 13の近傍に設けられた音声用マイクロホンである。

次に、以上のように構成されたムービーの動作

について説明すると、撮影時は被写体にレンズ部2を向けて撮影するのであるが、被写体が動いた場合、スイッチ14を操作して駆動部12でレンズ部13を駆動させることにより、ムービー本体11を動かすことなくレンズ部13を被写体に向けて撮影することができる。また、レンズ部13の近傍にマイクロホン15を設けてあることにより、音声を同時に録音することができる。

以上のように本実施例によれば、ムービー本体11とは別の動きが可能で被写体に合わせて動作するレンズ部13とマイクロホン14およびそれらを駆動する駆動部12を設けることにより、被写体が動いてもムービー本体11を動かす必要なく、最影時の機像装置の優れによる画像のプレなどを防止することができる。

なお、上記実施例において、マイクロホン15を レンズ部13の下に設けたが、上に設けてもよい。

また、レンズ部13とマイクロホン15をスイッチ 14で同時に操作させるようにしてあるが、それぞ れ別々にスイッチを設け、別々の操作を行なえる

ようにしてもよい。

発明の効果

以上のように本発明によれば、任意の方向に向けて撮影できるレンズ部を設けてあることにより、 振像装置本体を動かさずにレンズ部のみを動かし て撮影できるので、画像のブレや優れを防止でき る優れた映像振像装置を実現できるものである。 4. 図面の簡単な説明

第1回は本発明の一実施例における映象提集装置の側面図、第2回は従来の映象機像装置の側面図、第2回は従来の映象機像装置の側面図である。

11…ムービー本体、12…駆動部、13…レンズ部、 14…スイッチ、15…マイクロホン。

代理人 - 華 本 義 弘

第/図

11 -- ムービ-本体
12 -- 転動部
13 -- レンズ・部
14 -- スイッケ
15 -- マイクロネン

第2図

